

豚人工授精(AI)の導入を！

養豚経営において人工授精(AI)は、繁殖作業の省力化、疾病の蔓延防止、生産コストの低減など数多くのメリットがある技術といえます。

一方で、養豚農家の皆さんが人工授精を取り入れるにあたっての心配事は何でしょうか？ 技術的な問題 新たに器具を揃えなければならない 受胎率が悪く、産子数も少なくなってしまうのではないかなどなどいくつか挙げられると思います。しかし、導入時に必要な器具、器材をそろえ、技術も一度覚えてしまえば、それほど難しいものではありません。

さらに、繁殖成績において重要な点は、自然交配をする場合と同様、毎日の発情観察によってしっかりと授精適期を見つけることであり、それにより自然交配と同程度もしくはそれ以上の受胎率、産子数を得ることができます。ぜひ人工授精を導入してみてください！

畜産試験場では、人工授精の普及を図る一助としてランドレース、大ヨークシャー、デュロックの精液の配付を行っています。さらに、毎年多くの方に実践的な人工授精の技術を習得してもらうため、講習会を開いています。今年も以下の日程で講習会を行う予定ですので興味のある方は参加をお願いします。

(中小家畜研究室 小池達也)

平成15年度 豚人工授精技術講習会

講義： 10/17(金) 10:00～12:00

実習： 第1班 10/20(月)～24(金) 13:00～15:00

第2班 10/27(月)～31(金) 13:00～15:00

申込方法：受講申込書を住所地の市町村に提出して下さい

(申込書は市役所、町村役場にありますが、御不明の点は市町村、農業振興事務所、家畜保健衛生所または畜産試験場に御照会下さい)

申込締切日：10/7(火)



畜産試験場だより No.24

平成15年9月1日発行

栃木県畜産試験場

〒321-3303

芳賀町稲毛田 1917

028-677-0301